

NPO法人 アルテピアツアびばい
平成24年度活動報告書



安田侃 作品展 「触れる」 2012年 7月4日(水)-8月6日(月)



アルテピアツツア美唄 20周年を機に、今まで来たことがない多くの方々に足を運んでもらいたい、また、来たことがある方々にもこの空間を再認識してもらいたいと開催しました。屋内外の常設彫刻作品に加え、安田侃さんによって木造校舎の中に未発表作品を含む彫刻作品 9点が展示されました。アルテピアツツアの空気がいつもよりも濃く感じられた約 1ヶ月、何度も足を運んでくださる方もいらっしゃいました。

この場所を訪れ、感動した方々がひとりでも多く、これからもアルテピアツツア美唄を未来へ残していく活動に参加してくださることを願っています。

目で触れ、手に抱き、心で感じる。
何ものからも自由な時を刻む。

そんな彫刻空間が自然のなかに存在できないだろうか。
夢を追っての 20 年間、
多くの人の思いが優しさを内包した場に育んでくれました。

アルテピアツツアが、
離れていても人の心に残る風景でありたいと願いつつ。

Kan Yamada

ギャラリー

カフェアルテ・体験工房

アートスペース

その他

4
5
6
7
8
9
10
11
12
1
2
3



7月4日～8月6日
安田侃作品展「触れる」

8月9日～20日
「思い出の炭鉱写真展」



9月30日
第13回 アルテの「森語り」

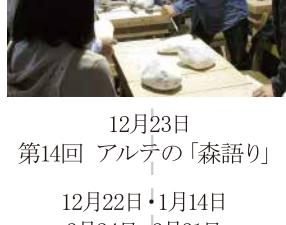


12月23日
第14回 アルテの「森語り」

12月22日・1月14日

3月24日・3月31日

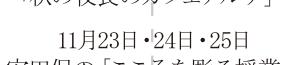
小学生のための「こころを彫る授業」



3月17日
美唄弦楽アンサンブル15周年演奏会



11月週末限定
「秋の夜長のカフェアルテ」



11月23日・24日・25日
安田侃の「こころを彫る授業」



12月23日
第14回 アルテの「森語り」

12月22日・1月14日

3月24日・3月31日

小学生のための「こころを彫る授業」



3月31日・4月1日
安田侃の「こころを彫る授業」

5月19日
アルテの四季コンサート

5月20日
林峰男チェロリサイタル

6月2日
第24回「森の広場の音楽会」

7月14日
第3回「ポポロミーティング」

7月22日
PMF2012美唄公演
「PMFアンサンブル演奏会」



9月1日
アルテの四季コンサート2012・秋

10月20日
第25回「森の広場の音楽会」

2月17日
平成24年度
北海道地域文化選奨贈呈式



6月10日・7月8日
アルテで灯す「ころさるキャンドル」作り

8月14日
アルテの盆踊り



8月19日
てくてく美唄炭鉱 我路編

10月28日
「秋のポポロミーティング」



1 施設および環境の維持・管理・保全(指定管理者事業)



来場者にアルテピアッツァの空間を気持ちよくお楽しみいただけたよう、作品の清掃・見回りや、屋内外の施設環境管理を行いました。また、水の広場の美観を守るために、流路と池の清掃は、4月から11月まで月1~2回のペースで実施しました。芝刈りや除雪業務は景観保全に留意しながら日々行いました。8月に設置された彫刻作品「意心帰」、「天秘」の周囲の芝生づくりにも取り組みました。そして、今年も5~9月までは毎週土曜日、10月は毎日、折れ枝拾いや雑草抜き、落ち葉集めなどを約40名のボランティアの方々とともに「クリーン

会」として開催しました。

危機管理として、今年度も火災発生を想定した避難訓練を実施し、美唄市消防署への通報、来場者の誘導、スタッフ間での連絡訓練を行いました。また、来場者に安全に屋外で過ごしてもらうために、夏期にアブ・ハチなどの害虫対策を行いました。

施設や道具の経年劣化や損傷に対しては、出来る限りの修理・保全を行っています。今年度は中古刈払機3台を寄贈いただいた他、他の公共施設で使われなくなった資材を譲り受けたなど工夫しながら業務をすすめま

した。建築物のメンテナンスや補修工事については、未来へこの空間を少しでも長く残すために、美唄市と協議をすすめ、アートスペース玄関ロビーの天井補修やアートスペース裏への塀設置などが新年度に予定されています。

季節ごとに移ろいゆく四季折々の景観を、美しい状態で来場者にご覧頂く為に、一般的な施設・環境の整備だけではなく、空間と彫刻作品の在り方を考慮しながらの施設管理を行えるよう、新年度も取り組んでいきます。

2 利用者や来訪者への対応(指定管理者事業)

来場者は四季を通して、道内外より28,540の方にお越しいただきました。リピーターの方も多く、「春も来たのですが、秋も見たくて」と季節を変えてお越しくださる方も多くいらっしゃいました。また、大型バス等で来られる団体のお客様が20組を超える方が4度もありました。一方で、冬は北海道の気象の影響もあり、例年よりお客様が少なく経過しました。

来場者へのご案内に際しては、ここに流れる心地よい時間を過ごしていただき、アルテピアッツァ美唄を感じるお手伝いが出来るよう心がけています。また、希望される団体へは施設の概要をご説明し、個人での再訪につながるよう努めています。

今年度は、例年以上にアジア圏を筆頭に海外のお客様も多くいらっしゃいました。今

後も増加が予想され、冬季にはスタッフ4名が英会話研修を受けました。また、英語版リーフレットの作成も課題としています。

来場者が増えるにつれ、施設利用のお約束をお伝えする場面も増えています。平成25年度よりホームページにて「ご来場されるすべてのお客様へ」としてマナーについてのご協力を呼びかけることとしました。

3 体験工房ストゥディオアルテの活用(指定管理者事業)

ストゥディオアルテは6年目を迎える、「こころを彫る授業」でお預かりしている大理石の保管状況を見直し、道具や設備のメンテナンスなどを行うことで、より快適にご利用いただけるよう心がけました。

活用状況としては、NPO主催事業である「こころを彫る授業」を延38日間開催し、授業の続きの彫刻を行うために個人でストゥディオを利用される方も増えました。その他、「アルテの森語り」の交流会や、盆踊りに向けたキャンドルづくりの会場としても使用しました。

今年度は、教育・研修会場としての利用が多く、大学のゼミ研修、美唄市内各中学校の

美術の授業のほか、空知管内高校生の英語弁論大会も開かれました。また、ストゥディオの映像・音響設備を活用した映画上映やアーティスト・トークなどのイベントも開催されました。北海道地域文化選奨呈式交流会や、新藤総務大臣による視察の際の昼食など飲食の会場としても活用しました。

多面的活動に利用できるスペースとして利用方法は多岐に渡りますが、今後も利用者の皆様と丁寧なコミュニケーションを図りながら、様々な活用方法を模索すると共に、適切なメンテナンスを行うことで、施設が末永く活用できるような取り組みを行っていきます。



4 コンサート・イベント（指定管理者事業）



貸館としても利用いただいているアートスペースでは多くの催しが開催されました。林峰男チェロリサイタル、イリス四重弦楽団、森の広場の音楽会等のコンサートは毎年の開催を楽しみにされている方も多くいらっしゃいます。池田聰氏やみのや雅彦氏が出演した「アルテの四季コンサート」も開催されました。一方で、市内ピアノ教室発表会や美唄おやこ劇場など地域の文化活動の場としてもご利用いただきました。

7月22日には PMF組織委員会と NPOの共催で「PMFアンサンブル演奏会」が開催さ

れ、300名を超える方が楽しまれました。出演者にもアルテピアッツァ美唄での演奏は「心が安らぐ空間で気持ちがいい」と大変好評でした。

アートスペースは、コンサートやイベントの会場として、多くのお申込やお問い合わせをいただきましたが、彫刻展示空間という施設本来のあり方をご理解いただきながら、都度対応をすすめました。

5 展覧会 (指定管理者事業)

安田侃作品展「触れる」(NPO主催)をはじめ、ギャラリーを利用してのさまざまジャンルの写真展のほか、絵画、陶芸、イラストなど21の展覧会が開催されました。美唄出身でパリや東京で制作活動をされている武田光弘氏の絵画展の際には、多くの市民の方にご来館いただきました。たくさんの利用のお申込、お問合せをいただいており、例年年明けには次年度の予約が埋まり始める状況になっています。

6 こころを彫る授業 (工房活用事業)

「こころを彫る授業」は、当NPO法人アルテピアッツァひびきが平成19年4月から開催している、誰もが参加できる彫刻の授業です。イタリア産の大理石や北海道産の軟石を使って、彫るのは自分の“こころ”です。石と向き合うことで、“こころ”と向き合い、目には見えない自身の“こころ”が「かたち」となることを目指します。道具はイタリア製の、のみや金づち、棒やすりを使用します。

今年度あらたにリーフレットを作成し、「こ

ころを彫る授業」への参加を積極的に募りました。その結果、毎月第一土日に開催するNPOスタッフが担当の「こころを彫る授業」には、のべ216名が参加されました。彫刻家安田侃さんが直接指導をする「安田侃の『こころを彫る授業』」は4月と11月に行い、全国から121名の方にご参加いただきました。昨年度から開始した「小学生のための『こころを彫る授業』」は4回開催し、計28名(うち美唄市内15名)の参加がありました。

7 炭山(やま)の記憶(炭山の記憶事業)

お盆には、かつて美唄炭鉱に縁のあった方が多く美唄に里帰りされます。「お帰りなさい」の気持ちを込めて毎年この時期にギャラリーで開催されてきた「思い出の炭鉱写真展」は、当法人主催としては2回目となりました。今年は「炭鉱の一日」をテーマに、眠らない街として明かりが消えることのなかったヤマの24時間写真で紹介しました。立体造形として、三笠の元炭鉱マン手作りの美唄炭鉱の象徴である赤い「堅坑」の模型を展示したほか、美唄在住の方が撮影編集した、炭鉱で栄えていた頃のお祭りの様子などが収められた映像を上映しました。思い出話を語る人や、それを興味深そうに聴く若い人など、話し声がたえない写真展となりました。

8月14日には「アルテの盆踊り」を開催しました。炭鉱が栄えていた頃、盆踊りは炭鉱夫にとっての大きな楽しみで、夜通し2重、3重の輪になって踊りました。アルテの盆踊りは地域

の盆踊りを継承し、「北海盆唄」を太鼓の音頭で踊ります。今年は、昨年よりも多い150人の方々と踊ることが出来ました。また、夕暮れからは池・流路に沢山の方にひとつひとつ手作りいただいた「ころころキャンドル」を灯しました。この日だけの特別な水の広場です。事前に踊りを教えてくださったり、当日も盛り上げてくださったりしたご近所の方々、キャンドル作りにご参加くださった方々などに深く感謝申し上げます。

さらに、会期中には「てくてく美唄炭鉱 我路編」として、かつて美唄炭鉱に縁のあった方々のお話を聞きしながら、商店街として栄えていた「我路地区」を歩きました。我路在住の方々に準備から多大なご協力をいただき、普段は見ることのできない「我路神社」の中を見せていただくなどしました。また、かつてこの地区に住んでいた参加者と地域の方が数十年ぶりに再会するという嬉しい出会いもあ

りました。52名の方にご参加いただき、炎天下約2時間歩きましたが、「楽しかった」という言葉をたくさんの方にいただきました。

今年度の事業実施にあたっては、空知総合振興局から「そらち『炭鉱(やま)の記憶』提案活動協働実践事業」として支援をいただきました。



8 情報発信(広報事業)

Arte通信Vol.17、18、19の3号を発行したほか、随時ブログやホームページの更新を行い、アルテピアツツア美唄を応援してくださるみなさま、関心を持ってくださったみなさまへ、文章と写真でアルテの日々の空気を伝えられるように心が

けてきました。また、北海道内の新聞や全国版の雑誌、webなどでアルテを紹介していただきました。取材をしていただく際には空間の素晴らしさに加えて、この場所を守る活動についてもお伝えするように努めました。その他、近年注目を

集めている「地域とミュージアムとの関わり」「廃校の活用」などといったテーマでアルテを紹介して頂く機会もありました。多方面、様々な分野からアルテピアツツア美唄の空間とNPOの活動にも関心をお寄せいただいている。

9 アルテ市民popolo活動(アルテ市民popolo事業)

イタリア語で「市民」を意味する「ポポロ」。アルテピアツツア美唄を次世代へつないでいく思いを共通項としたコミュニティ「アルテ市民ポポロ」制度を発足して3年目でした。ひとりでも多くのポポロ参加者が増えることで、未来へのバトンがより確実になっていきます。来館者への呼びかけ、リーフレットの配布など、積極

的な広報を行い、新規参加を増やすよう努めました。年に3回発行しているArte通信や催しのお知らせの他、市民証やクリスマスカードなどはポポロのみなさまだけにお届けいたしました。

7月に「第3回ポポロミーティング」を開催し、第一部で20周年にちなんだお話を聞いて前年度活動報告及び意見交換、第二部には童話作

家の加藤多一氏をゲストに迎え、理事長との対談を行いました。また10月末に実施した「秋のポポロミーティング」では講師に林業試験場の対馬俊之氏を迎え、普段は歩けないアルテの森を散策しました。散策の後には美唄ポポロの方からいただいた美味しいじゃがいも、さつまいもで温まりました。

10 安田侃作品展「触れる」 (20周年事業)

アルテピアツツア美唄20周年を記念して、7月4日から8月6日までの期間、「安田侃作品展『触れる』」を開催しました。初めて安田侃さんの作品展を企画するにあたり、安田さんにどのような展示をするのか伺い、見に来た方が安田さんの創る世界を十分に感じていただけるようにと考え、作品展のイメージに沿うようなリーフレットやポストカードなど印刷物制作、スタッフのための資料作成など、各準備を進めました。

会期中は、会場スタッフとしてアルテ市民ポポロのみなさまにもご協力をいただきま

した。作品や鑑賞環境の保護に加え、来訪者からのお尋ねがあれば、アルテのことや作品のご案内をするなど、気持ちのこもった、きめ細やかな対応をすることができました。

20年という節目の年に安田さんの作品展を行ったことはNPO法人アルテピアツツアびばいのスタッフにとっても、この空間の意義を考え、どのように未来に繋いでいくかを改めて考える機会ともなりました。

11 書籍・グッズ販売 (販売事業)

ギャラリー及びカフェで、書籍やポストカード、Tシャツ、ポスターなどを販売しています。以前より販売していたミニ彫刻は、専用の箱や台座、リーフレットが揃い本格的に販売を始めました。また、四季折々の新しいポストカード8枚と小冊子がセットになっているポストカードセットを新たに作成、販売し好評です。2013年カレンダーは、ポポロのみなさまはじめ、多くの方にご購入いただき、900部完売となりました。ありがとうございました。

グッズ販売については、札幌他での催しの際にお声がけいただき、アルテピアツツア美唄の宣伝やグッズ販売のスペースをいただくこともありました。

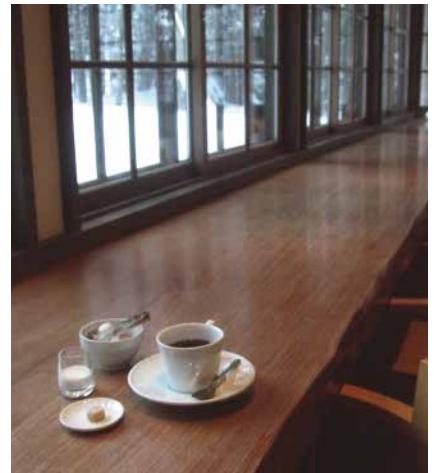
12 カフェアルテの運営(喫茶事業)

6年目を迎えたカフェアルテでは、お客様にゆったりと楽しんでいただけるような空間作りをこころがけ、適切な接客を模索しながら、心を込めて製菓や調理にも取り組みました。季節の節目ごとに行う「アルテの森語り」や、「アイスコーヒー(夏期)」「かぼちゃスープ(冬期)」などの期間限定メニューにより、お客様に季節を感じていただけるような運営を行いました。

また、美唄の郷土料理であるとりめしをアルテ風にアレンジしたレシピを整え、「小学生のための『こころを膨らむ授業』」で美唄産の米粉やかぼちゃを使用したスイーツを作るなど、地元の食材・食文化を知っていただく工夫を

しました。新藤総務大臣視察の折、美唄農家さんによる手作り料理「かあさんの味」を提供した際には、大臣より美唄のお米を絶賛していただきました。

そして、今年度は、アルテでの時間をゆっくり過ごしていただきたいと、11月の金・土曜の夜間限定で「秋の夜長のカフェアルテ」と題して、通常メニューに加え、ワインや美唄産の野菜を使用したおつまみなどをご用意し、お客様をお迎えしました。当日は屋外の彫刻のライトアップなど、特別なアルテの夜をお楽しみいただきました。その他、温かい飲み物にサービスでお付けしている「ぽちゃんクッキー」のパック販売を今年度から始めました。



N P O 法人アルテビアツツアびばい

活動計算書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	特定非営利活動に係る事業	その他事業	合計
I. 経常収益			
1.受取会費			
ボボロ市民会費収益	1,446,000		1,446,000
美唄ボボロ市民会費収益	60,000		60,000
コボボロ市民会費収益	4,000		4,000
会員会費収益	120,000		120,000
団体会費収益	720,000		720,000
2.受取寄付金			
募金箱寄付	800,424		800,424
寄付金	1,063,913		1,063,913
3.事業収益			
指定管理者事業収益	17,732,350		17,732,350
工房活用事業収益	2,113,000		2,113,000
炭鉱の記憶事業収益	85,220		85,220
広報事業収益	10,000		10,000
アルテ市民popolo事業収益	7,700		7,700
20周年事業収益	3,000		3,000
販売事業収益		2,733,711	2,733,711
喫茶事業収益		9,686,350	9,686,350
4.その他収益			
受取利息	1,713		1,713
雑収益	42,670		42,670
経常収益計	24,209,990	12,420,061	36,630,051
II. 経常費用			
1.事業費			
(1)人件費	12,566,796	6,732,777	19,299,573
(2)その他経費	13,988,283	4,160,953	18,149,236
事業費計	26,555,079	10,893,730	37,448,809
2.管理費			
(1)人件費	329,046	0	329,046
(2)その他経費	876,386	0	876,386
管理費計	1,205,432	0	1,205,432
経常費用計	27,760,511	10,893,730	38,654,241
税引前当期経常増減額	-3,550,521	1,526,331	-2,024,190
法人税等	0	80,000	80,000
経理区分振替額	1,446,331	-1,446,331	0
当期正味財産増減額	-2,104,190	0	-2,104,190
前期繰越正味財産額	11,844,847	0	11,844,847
次期繰越正味財産額	9,740,657	0	9,740,657

事業別事業費内訳

科目	指定管理者	工房活用	炭鉱の記憶	広報	アルテ市民	20周年	共通	販売	喫茶	合計
(1)人件費										
給料手当	8,575,710	1,435,310	495,900	459,600					5,983,842	16,950,362
福利厚生費	921,785	401,234	140,351	136,906					748,935	2,349,211
人件費計	9,497,495	1,836,544	636,251	596,506	0	0	0	0	6,732,777	19,299,573
(2)その他経費										
売上原価		146,400								
業務委託費	2,714,200									
諸謝金		2,800								
印刷製本費		54,290	20,560	216,772	172,470	55,670			66,666	87,057
旅費交通費	5,280	3,040	4,680	2,400		12,660				519,762
通信運搬費	254,484	93,378	2,316	68,292	342,440	6,502				28,060
消耗品費	747,291	5,040	36,049	13,884	3,402					987,218
修繕費	452,659									981,550
水道光熱費	4,190,607									452,659
地代家賃										4,382,569
減価償却費										468,000
保険料	49,430	5,100	1,020		1,530					191,962
諸会費										120,000
租税公課	424,100	49,700	1,700	100						19,096
新聞図書費										970,906
雑費	508,929	6,090	93,110	315	55,950					2,700
その他経費計	9,346,980	365,838	160,685	301,763	589,303	78,912	3,144,802	835,556	3,325,397	18,149,236
事業費計	18,844,475	2,202,382	796,936	898,269	589,303	78,912	3,144,802	835,556	10,058,174	37,448,809

NPO法人 アルテピアッツアびばい

代表者 理事長 磯田憲一

理事 15名

監事 2名

スタッフ 常勤6名

沿革

平成17(2005)年4月	設立総会
平成17(2005)年8月	NPO法人認証
平成18(2006)年4月	指定管理者制度により美唄市よりアルテピアッツア美唄の管理運営を受託
平成19(2007)年4月	カフェアルテ、ストゥディオアルテ(体験工房)オープン、運営受託
平成19(2007)年4月	第1回安田侃の「こころを彫る授業」開催。以降、NPOスタッフが担当して毎月開催
平成21(2009)年10月	北海道新聞北のみらい奨励賞受賞
平成22(2010)年1月	平成21年度地域づくり総務大臣表彰受賞
平成22(2010)年4月	アルテ市民ポポロ制度発足
平成25(2013)年2月	北海道地域文化選奨、及び共同通信社地域再生大賞優秀賞 受賞

1992年7月にオープンしたアルテピアッツア美唄は20年を経過し、これまでの軌跡を振り返り、このかけがえのない空間を次世代に伝えるための具体的な取り組みに着手する時機を迎えています。そこで、平成25(2013)年度は、美唄市と安田侃氏と市民が手を携えて進んできた20年の歩みに関わる資料を収集・整理し、将来の施設の発展の礎となるアーカイブを整備します。また、美唄市教育委員会平成25年度教育行政執行方針により、美術館としての位置づけに向けた検討がなされることとなり、この機に老朽化が進む施設等の再整備の年次計画の策定に協働して取り組みます。そして、アルテピアッツア美唄の今後の管理運営を担う人材の育成につとめます。このほか、アルテピアッツア美唄における彫刻作品の多くが美唄市やNPOの所有でないことから、施設の永続的な運営が可能となる仕組みづくりを検討し関係各方面との合意形成をすすめます。

皆様の更なるご支援ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

理事長 磯田憲一

アルテ市民 ポポロ

アルテピアッツア美唄のかけがえのない空間を守り、「こころのふるさと」として次世代につなげていきます。

	アルテ市民 popolo	団体会員																					
内 容	アルテピアッツア美唄を次世代へつないでいく思いを共通項としたコミュニティ。																						
会員になると	<ul style="list-style-type: none"> ●アルテ市民証が発行されます。 ●アルテ通信が年3回届き、アルテの現在(いま)を知ることができます。 ●年1回以上のポポロミーティングで意見を述べたり、ポポロの催しに参加したりすることができます。 	 ※24年度市民証																					
金 額	<p>●市民会費</p> <table> <tr> <td>ポポロ</td> <td>3,000円</td> </tr> <tr> <td>コポポロ(中学生以下)</td> <td>500円</td> </tr> <tr> <td>美唄ポポロ(美唄在住の方)</td> <td>500円</td> </tr> </table> <p>※期間は毎年4月1日～翌年3月31日までの1年間です。</p>	ポポロ	3,000円	コポポロ(中学生以下)	500円	美唄ポポロ(美唄在住の方)	500円	<p>●団体会費</p> <table> <tr> <td>団体会員</td> <td>30,000円</td> </tr> </table> <p>※期間は毎年4月1日～翌年3月31日までの1年間です。</p>	団体会員	30,000円													
ポポロ	3,000円																						
コポポロ(中学生以下)	500円																						
美唄ポポロ(美唄在住の方)	500円																						
団体会員	30,000円																						
<p>●団体会員</p> <table> <tr> <td>有限会社東オートセンター</td> <td>玉田産業株式会社</td> <td>広瀬建設工業株式会社</td> </tr> <tr> <td>財団法人神奈川県経営者福祉振興財団</td> <td>宗教法人長延寺</td> <td>北海道クリーン・システム株式会社</td> </tr> <tr> <td>学校法人光塩学園</td> <td>TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE</td> <td>医療法人社団北海道こども心療内科氏家医院</td> </tr> <tr> <td>株式会社岸本組</td> <td>医療法人社団はまなす医院</td> <td>北海道中央労災病院せき損センター</td> </tr> <tr> <td>札幌アルト株式会社</td> <td>東戸公認会計士事務所</td> <td>村松法律事務所</td> </tr> <tr> <td>札幌通運株式会社さくらスマイル引越センター</td> <td>美唄市医師会</td> <td>株式会社丸ヨ池内</td> </tr> <tr> <td>株式会社シー・アイ・エス計画研究所</td> <td>美唄市市議会議員会</td> <td>(2013年3月31日現在)</td> </tr> </table>			有限会社東オートセンター	玉田産業株式会社	広瀬建設工業株式会社	財団法人神奈川県経営者福祉振興財団	宗教法人長延寺	北海道クリーン・システム株式会社	学校法人光塩学園	TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE	医療法人社団北海道こども心療内科氏家医院	株式会社岸本組	医療法人社団はまなす医院	北海道中央労災病院せき損センター	札幌アルト株式会社	東戸公認会計士事務所	村松法律事務所	札幌通運株式会社さくらスマイル引越センター	美唄市医師会	株式会社丸ヨ池内	株式会社シー・アイ・エス計画研究所	美唄市市議会議員会	(2013年3月31日現在)
有限会社東オートセンター	玉田産業株式会社	広瀬建設工業株式会社																					
財団法人神奈川県経営者福祉振興財団	宗教法人長延寺	北海道クリーン・システム株式会社																					
学校法人光塩学園	TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE	医療法人社団北海道こども心療内科氏家医院																					
株式会社岸本組	医療法人社団はまなす医院	北海道中央労災病院せき損センター																					
札幌アルト株式会社	東戸公認会計士事務所	村松法律事務所																					
札幌通運株式会社さくらスマイル引越センター	美唄市医師会	株式会社丸ヨ池内																					
株式会社シー・アイ・エス計画研究所	美唄市市議会議員会	(2013年3月31日現在)																					
お申込・お問合せ先	NPO法人 アルテピアッツアびばい	〒072-0831 北海道美唄市落合町栄町 TEL/FAX 0126-63-3137																					
		メール arte@artepiazza.jp URL http://www.artepiazza.jp/																					

「クリーン会」

日時 □5~9月 毎週土曜日 □10月 毎日 8時半~10時 ※雨天中止

集合場所 □アートスペース入り口(当日の作業場所を掲示しています)

内容 □草むしりや小枝集め、落ち葉集めなどの手作業です。軍手等は各自ご準備下さい。

登録不要です。ご都合の良い時間帯にご参加ください。ご参加のたびにアルテ樹木カードを差し上げています。

24年度はすべての種類を集めた方もいらっしゃいました。

25年度のカードはアルテピアッツア美唄内の水の広場で見られる樹木を紹介する内容です。



アルテピアッツァ美唄 施設概要

アルテピアッツァ美唄はかつて日本有数の炭鉱都市だった美唄市の山間にある野外彫刻公園です。公園には地元出身で国際的に知られるイタリア在住の彫刻家、安田侃の大理石やブロンズの作品40点余が展示されています。炭鉱住宅跡に再生された木々茂る山々や清流に囲まれた空間では、四季の移り変わりを満喫できます。



20年のあゆみ

- 1991年 閉校した旧栄小学校の体育館を交流スペース、アートスペースに改修。
1992年 7月、野外スペースを整備し、アルテピアッツァ美唄としてオープン。「真無」「吹雪」など5作品を野外に展示。
11月、アートスペースで初めての演奏会を開催。
1997年 水の広場開設。「天聖」「天沃」などを設置。
1998年 旧栄小学校の校舎改修。
1999年 旧栄小学校2階にギャラリーを開設。
2001年 10月、北海道が創設した「北のまちづくり賞」知事賞受賞。
2002年 5月、安田侃さんが「第十五回国野藤吾賞」受賞。受賞対象作品が「アルテピアッツァ美唄」。
2003年 7月、天皇皇后両陛下、アルテピアッツァ美唄を行幸啓。
2006年 4月、指定管理者制度により、NPO法人アルテピアッツアびばいが管理運営を開始。
2007年 4月、ストゥディオアルテ、カフェアルテがオープン。ストゥディオアルテでは、毎月、こころを彫る授業を開催。
2010年 6月、音の広場に「真無」を設置。
2012年 7月、アルテピアッツァ美唄20周年記念安田侃作品展「触れる」を開催。
現在、野外・ギャラリー・カフェ・アートスペースを合せて約40点の作品を展示している。

H24年設置彫刻紹介



「意心帰」

2012年6月27日

/ブロンズ



「天秘」

2012年8月7日

/白大理石

